

令和7年度 認定こども園御所野幼稚園関係者評価

昨年度に引き続き、教育目標を「自分の思いを大切にし 生き生きと遊ぶ子どもの育成」とし、重点項目・主な観点を設け、そのことを中心に委員の皆様からご意見・感想、そして評価をいただきました。

今年度は、7月と1月に運営協議会を2度実施し、どちらも全クラスの参観後に協議を実施しました。2月の協議会では、自己評価(保護者アンケート、職員自己評価、学校評価)の資料を用いて話し合い、委員の皆様からは、今後の園の教育・保育について示唆を得るお話をいただきました。

評価については、【S:とても良い A:良い B:普通 C:検討が必要 D:改善が必要】として評価をしていただきました。

重点項目と主な観点	委員の皆様からのご意見・感想	評価
<p>遊びや活動に取り組む「環境構成」の工夫</p> <p>○主体的に遊ぶ環境構成</p> <p>○遊びの中の「学び」</p> <p>○遊びにより育む思いやり、協力、助け合い、思考力、たくましさ等</p>	<ul style="list-style-type: none"> 子どもたちがのびのびと安心して活動できる環境づくりがなされている。遊びを通して、子どもたちが協力しあったり、優しく声を掛けたりする様子が自然に見られた。 子ども一人一人が自分で選んだ遊びに興じられるような環境構成になっていた。 コーナー遊びの場が充実していてとても良い。保育者が一緒になって遊んだり、迷っている子に声を掛けたりなど、場面に応じて役割を変えながら保育がみられた。 各年齢やその時々の子どものたちの興味にあわせたコーナーを設置し、子どもたちはそれぞれ好きな遊びを見つけ遊び込んでいることが素晴らしいと感じた。先生方の声掛けや環境づくりの工夫ができていた。 	S
園より	<p>子どもたちの主体的な遊びのためには、環境構成の工夫がとても大事なことと考えています。遊びを通して、子ども自身が学ぶことが多くあります。これからも環境構成の工夫を大事にして、教育・保育を進めていきたいと思っています。</p> <p>好きな遊びと一斉遊びにより、思いやりや協力、助け合いなどの目には見えない力を育んでいくことも、幼児教育を担う園としての役割であると思っています。委員の皆様には、高い評価をいただきましたが、この項目については、一人一人の子どもを見据えて、これからも努力していきたいと思っています。</p>	
<p>豊かな感性を育む</p> <p>○御山での自然体験</p> <p>○園舎周辺の自然や公園</p> <p>○絵本と読み聞かせ</p> <p>○製作、音楽活動、絵画等</p>	<ul style="list-style-type: none"> 体験活動が子どもたちにとって価値あるものである。屋外での活動は、クマ対応など配慮すべき点が多くあったことだと思うが、今後も子どもの豊かな感性を育む工夫をして欲しい。 園の掲示物の子どもたちが書いている絵を見ると楽しくなる。 季節や発達段階に合わせた壁面製作が素晴らしい。また、わらべ歌や詩の暗唱などは、子どもたちにとって良い取り組みになっている。 今年度は、クマ問題で戸外遊びの機会をつくることが大変だったと思う。その中でも御山野楽校へ出掛け、自然と触れ合うなど貴重な体験ができていたと思う。 製作物は、色々な手法を体験できる製作を工夫しており、子どもたちの創造力を引き出していた。音楽活動でも歌声が素晴らしく、大きな声で歌うだけでは無く、感情をこめて強弱をつけて歌うことを大切にして表現力を育てていた。 	A
園より	<p>クマの出没で、園外活動の行き先を変更するなどして行ってきました。幸いにも御山野楽校での自然体験等は、予定通り行うことができて良かったと思っています。以前に比べて自然環境が変わり、夏場は35℃を超える日が続きあり、園内から出ることを控えることもありました。今後も、自然環境に十分配慮しながら、子どもたちの安全を最優先し、楽しい園活動が取り組めるようにしていきたいと思っています。</p> <p>保護者の方が行ってくださる読み聞かせやプレイの会の活動は、とっても素敵な活動で、子ども達もすごく楽しみにしています。</p>	
<p>保護者連携</p> <p>○お誕生会</p> <p>○おしゃべりタイム</p> <p>○子育て支援</p> <p>○各種行事での連携</p> <p>○読み聞かせ</p>	<ul style="list-style-type: none"> 目に見えない育ちを保護者に丁寧に伝える姿勢を大事にして欲しい。 園の先生方の雰囲気も良く、相談しやすい環境にある。 園に保護者が関わる機会があることで、子どもたちの様子が分かり園生活の様子を知ることができた。PTA活動については、共働き世帯も増えているので、必要な活動と不必要な活動を見極めて選択していくことが必要になってきていると思う。 発表会の衣装や道具、セットなどの製作にお母さんのボランティアの協力が有り、素敵な発表会に繋がっていた。 	A
園より	<p>園で遊んだことや子どもの成長していることなどを、保護者へ伝えることは、これからも大事にしていきたいと思っています。ご家庭での生活でお子さんに培ってきたものを、園としての集団生活に生かせるよう取り組んでいきたいと思っています。また、PTA活動</p>	

<p>については、お仕事をしている方が多くなっていますので、検討する必要があるように思っています。</p>		
<p>健康・安全な生活</p> <ul style="list-style-type: none"> ○食育、食物アレルギーの対応 ○ケガや突発的な事故防止 ○体力づくりの奨励 ○園児数の確認とバス乗降時の確認・点検 	<ul style="list-style-type: none"> ・「子どもの安全を確保」することは、最優先で取組まなければならない。今後も未然防止に努め、安心・安全な園生活を送ることができるように取り組んでほしい。 ・クラスに担任の先生の他に保育補助の先生がいて、保育を担ってくれており、丁寧な教育・保育に取り組んでいた。 ・バス乗降時の確認点検は強く求められている。確認や点検はおろそかにしないように取り組んで欲しい。 ・手作りおやつや給食が自園で行っていることがとても良い。学年ごとに行っている野菜を育てる学習については、園として、もう少しアピールが必要だと思った。 ・バスの乗降時の確認や点検など、きちんと行われていた。今年度はクマ問題もあり、バス停ではなく、家の前での乗降したりと臨機応変に対応しており、安心して利用できた。 ・体力づくりについては、サーキット遊びや跳び箱、鉄棒等を保育の中で活用し、体力づくりに努めていた。 	A
園より	<p>夏の高温、クマの出没、コロナ・インフルエンザなどの感染症、大雪などについては、子どもの安全を何よりも最優先して取り組んでいかなければならないと思います。園内でのケガについても、注意していきたいと思います。</p>	
<p>小学校や地域との連携の推進</p> <ul style="list-style-type: none"> ○授業参観、話し合い ○架け橋プログラム ○10の姿についての幼小の共通理解 ○御所野夏祭り ○高齢者施設との交流 	<ul style="list-style-type: none"> ・園と小学校が相互理解を深め、子どもの学びと育ちのつながりを意識しながら指導することができるよう、園児と児童の交流や教職員の連携を充実させて欲しい。 ・架け橋プログラムは、大切な事だと思っている。これから広がっていくことを願っている。 ・幼保小連携や地域とのつながりを大切にしたい教育・保育の実践は、とても良いと思った。 ・夏まつりやクリスマスコンサート、小学校との連携は素晴らしい。 ・今年度から小学校と年長との交流の場を設け、架け橋プログラムを積極的に取り組んでいた。幼稚園、小学校、保護者、地域の方と意見を交わす場はとても大切である。子どもたちも保護者もスムーズに安心して進学ができるよう、幼稚園、小学校と情報交換しながら、今後も続けて欲しい。 	A
園より	<p>小学校のご好意で、学期毎に年長と1年生の交流を計画することができました。残念ながら感染症の流行期と重なり、2回の交流になってしまいましたが、子どもたちの楽しい時間をつくり出していただきました。小学校の職員が幼稚園に来て保育を見たり、園の職員が小学校へ行って授業を見たりする機会が多くなり、架け橋プログラムの本格的な実施に向けた下地が整ってきていると思います。</p>	
<p>チーム御所野</p> <ul style="list-style-type: none"> ○信頼される教師 ○可能性を引き出す教師 ○豊かな人間性と感性 ○学び続ける保育者集団 	<ul style="list-style-type: none"> ・先生たちが役割分担をして、子どもたちへの支援に務め、その専門性の高さを感じる。 ・素晴らしい先生方ばかりで、子どもたちが先生に向ける眼差しや寄り添う姿が先生への信頼感を表していたことを参観を通して感じた。 ・どの先生も、笑顔で愛情をもって子どもたちに接していることが分かる。 ・園内外での研修に参加し、前向きに保育に向きあっている。1クラスの学年には、先生の負担も多く大変だと思う。もう少し人員等の余裕があれば、ゆとりをもって更に濃い保育ができると思う。 	B
園より	<p>10月に公開保育を実施しました。遊びの中で「迷子になる子どもがいらない」という、指導助言者からのお話をいただきました。一人ひとりの先生の、教育・保育への温かい気持ちが子どもたちに向けられていることを改めて感じています。これからも、子ども一人一人を大事にした保育・教育を進めて参りたいと思います。</p>	
その他	<p>今後も少子化で、園児数やクラスの減少は避けられない。先生方の負担が大きくなるよう、人員の配置には配慮していかなくてはならない。異年齢で過ごす場面を作るなど、チームで保育ができたらと良いと思う。教育内容や行事など、今の時代や子どもたちの様子に合わせて、内容を検討してアップデートしていることと思うが、改善が必要な部分もあると思うので、今の子どもの姿、保護者、環境などに留意して今後も教育・保育に努めて欲しい。</p>	

